

中国地方初開催！地域の魅力発掘・発信方法を学び、ふるさと納税返礼品の継続的な魅力発信につなげる
住民参加型・山口県「山陽小野田市ローカル魅力発掘発信ワークショップ」開催



SANYOONODA CITY

Discover Local Treasure

高めよう！地域の情報発信力

山陽小野田市ローカル魅力発掘発信
ワークショップ

参加無料

あなたが愛する地域の姿をカタチにして、全国に届けよう！！

詳細はこちら：https://furu-po.com/spage.php?nm=project_sanyoonoda01

山口県山陽小野田市と株式会社 JTB は、合同会社イーストタイムズとともに、地域住民が記者となり、地域の魅力を発掘発信する「山陽小野田市ローカル魅力発掘発信ワークショップ」を2022年9月3日(土)と9月24日(土)に開催します。

本ワークショップは山陽小野田市と(株)JTB が共催し、(同)イーストタイムズが運営を手掛けるもので、市内在住または市内在勤・在学の方を対象とし、情報発信の専門家から地域の魅力発掘・発信方法を学びます。参加者から発掘された山陽小野田市の魅力は、(株)JTB のふるさと納税サイト「ふるぽ」で発信するとともに、ワークショップ終了後は、山陽小野田市の返礼品の継続的な魅力発掘・発信につなげていきます。

この取組みは、「その土地を、ふるさとと想う人をつくる」ことを目標に、地方創生に取り組む自治体と地元の方々が一体となって、地域の魅力を発掘・発信し、ふるさと納税を通じてその土地を応援する人の輪を広げていく「ローカル魅力発掘発信プロジェクト」の一環として実施します。

山陽小野田市は、山口県の南西部に位置し、県下有数の工業都市地域であるほか、里山・河川・干拓地に広がる田園地帯、海などの豊かな自然、森と湖に恵まれた公園、海や緑に囲まれたレクリエーション施設があり、優れた自然環境に包まれています。一方で、少子高齢化や人口減少は市としての重要課題であり、地域資源などの特性を最大限に生かしながら、まちづくりの基本理念である「住みよい暮らしの創造」を推進していくために、多様な担い手が協力してまちづくりに取り組む「協創によるまちづくり」に取り組んでいます。

「山陽小野田市ローカル魅力発掘発信ワークショップ」によって、地元の魅力を市民自らが発掘・発信することで、地域経済の活性化や関係人口の拡大につなげ、ワークショップ終了後は地元住民視点でふるさと納税返礼品の魅力を継続的に発掘・発信し、ふるさと納税寄附拡大につなげていくことを目的としています。

「ローカル魅力発掘発信プロジェクト」では、地域住民が主体的に情報発信を続ける仕組みを構築することで、地域内外で“山陽小野田ファン”とその地域を“ふるさと”と想う人＝関係人口の創出・拡大を目指します。

■地元の魅力を再発見し、共感を生む表現で伝え、ふるさと納税へ

本ワークショップは、全2回で構成されます。第1回は、地域の魅力を再発見し、全国の人に伝える手法を学びます。第1回から第2回の間、参加者は、街を歩いてインタビューを行い、地域の魅力を発掘します。第2回のワークショップでは、発掘してきた魅力を元に「魅力発掘発信レポート」、略して「ハツレポ」を作ります。

地域の魅力が詰まった「ハツレポ」は、プロの手による校閲・編集を経て、(株)JTB「ふるぽ」内の特設ページに掲載。希望する参加者は、地元の返礼品についての「ハツレポ」を寄稿することで地元住民視点でのふるさと納税返礼品の魅力発掘・発信も行っていくとともに、(同)イーストタイムズが運営する、各地の住民がその土地の魅力を発掘・発信するローカル情報プラットフォーム「ローカリティ！」のレポーターとなり、山陽小野田市の魅力の発掘発信を続けていきます。

■「山陽小野田市ローカル魅力発掘発信ワークショップ」概要

- ・開催日時 第1回:2022年9月3日(土) 13:30~16:30(開場 13:00)
第2回:2022年9月24日(土) 13:30~16:30(開場 13:00)
- ・会場 厚狭地域交流センター 第2研修室 A・B
〒757-0005 山口県山陽小野田市大字鴨庄94
- ・募集定員 30名(会場・オンライン合計)
※オンラインでのご参加も可能です
- ・応募期間 2022年8月1日(月)~2022年8月31日(水)
- ・申込サイト https://furu-po.com/spage.php?nm=project_sanyoonoda01
- ・参加費 無料
- ・実施内容



過去開催のワークショップの様子

STEP.1	学ぶ	第1回ワークショップ:9月3日(土) 「ローカルの魅力」とは何か 地域の魅力の発掘発信方法を学びます
STEP.2	発掘	第2回まで:街を歩いて地元の「魅力」を発掘し、「ハツレポ」の準備をします
STEP.3	発信	第2回ワークショップ:9月24日(土) 発掘してきた「魅力」をもとに「ハツレポ」を作ります
STEP.4	ふるさと納税へ	第2回以後:住民が継続的に「ハツレポ」を作成し、一部はふるさと納税サイト「ふるぽ」に掲載して返礼品のPRに貢献するとともに、ワークショップ参加後も返礼品を通して継続的に地域の魅力を発信します

※ワークショップは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対策を講じて開催します。

※新型コロナウイルスなどの状況により、参加方法(会場またはオンライン)や実施内容変更の場合もあります。

■講師紹介 合同会社イーストタイムズ 代表社員 CEO 中野宏一

1984年秋田県湯沢市生まれ。埼玉県出身。東京大学公共政策大学院修了。朝日新聞校閲記者を経験した後、2015年震災報道・地域報道を行うため仙台でイーストタイムズ創業。Yahoo!ニュース記者として宮城に居ながらローカルニュースで数百万人に読まれるヒット記事を連発する。それらの経験を活かし、ローカルの魅力を市民自身の手でニュースにして発信する活動を開始し、SNS を活用したローカル情報発信の専門家として、全国60箇所2000人以上の市民記者を育成している。

■過去開催のワークショップ参加後に地元住民が寄稿した「ハツレポ」と返礼品

秋田県大仙市で開催されたワークショップ参加者が、その後、地元で育まれた返礼品の魅力を発信。古くから伝わる先人の知恵や、地域特性を最大限に生かした製造過程、伝統を守る思いなどが丁寧に綴られています。



・返礼品:【ふるさと納税】「いぶりがっこ一本漬け」桜食品（秋田県大仙市）

https://furu-po.com/goods_detail.php?id=496113

■「その土地を、ふるさとと想う人をつくる ～ ローカル魅力発掘発信プロジェクト～」

JTB ふるさと開発事業部と合同会社イーストタイムズが、「その土地を、ふるさとと想う人をつくる」ことを目標に、地方創生に取り組む自治体と地元の方々が一体となって、地域の魅力を発掘・発信し、ふるさと納税を通じてその土地を応援する人の輪を広げていく取り組みです。2020年9月から始まった当プロジェクトは、2022年7月までの間に、全国10自治体で開催、参加者数は累計458名に上ります。発掘された魅力を発信する「ハツレポ」もふるさと納税サイト「ふるぽ」に多数掲載されています。

ローカル魅力発掘発信プロジェクト:https://furu-po.com/spage.php?nm=project_local

■株式会社 JTB が運営するふるさと納税サイト「ふるぽ」

JTB は、「旅の数だけふるさとが増えていく。ふるさと納税で旅に出よう」をコンセプトに、全国の自治体の魅力をふるさと納税サイト「ふるぽ」を通じて発信する事業を行っています。多くの方々が「旅」を通じて、自分の新しいふるさとを見つけ、増やしていくことを応援しています。



ふるぽ:<https://furu-po.com/>

■合同会社イーストタイムズ

合同会社イーストタイムズは、2015年、東日本大震災の復興途上にあった仙台で、震災報道と地域報道を行うため、元新聞記者らが立ち上げた会社です。代表の中野宏一はヤフーニュース記者として地域のニュースを全国に報道するうちに、地域には魅力がないのではなく、魅力が発信されていないだけだと気付くようになりました。そこで、2016年より地域の住民が作るニュースネットワークを構築し始め、そこで蓄積されたノウハウを活かし、2020年10月、全国各地の住民がその土地の魅力を発掘・発信するローカル情報プラットフォーム「ローカリティ！」をリリース。今後もローカルに埋もれた「驚き・発見・感動」を、その土地に生きる人々とともに、全国に向けて発信し続けていきます。



合同会社イーストタイムズ:<https://www.the-east.jp/>

ローカリティ! :<https://thelocality.net/>

■自治体および協力・企業団体の方からのお問合せ先

JTB ふるさと開発事業部 TEL:06-6120-9120 (9:30~17:30 ※土日祝休)

JTB 法人サービスサイト <https://www.jtbbwt.com/government/>

■報道関係の方からのお問合せ先

JTB 広報室 TEL:06-6260-5108